

2023年10月発行



特集「なばりのきらきらウーマン」

かじかわ ちはる

第21回 名張警察署 梶川千晴さん

名張できらきら輝く女性へのインタビュー企画・第21回目は、名張警察署 生活安全課の梶川千晴さん。市民を守り人の役に立ちたいという気概の頼もしさと、はにかんだ笑顔の柔らかさが印象的でした。

(インタビューの内容はこちらです)

女性に対する暴力をなくす運動期間



「世界をより安全なものに」…パープルリボン運動
パープルリボンは、女性に対する暴力根絶の象徴です。暴力をなくそうという「パープルリボン運動」は、現在40カ国以上のネットワークに発展しています。

11月12日～25日

お知らせ

名張市保健センターライトアップ(雨天:翌日)
11月1日(水)17:45～19:30、パープルリボンにちなんだ紫色と、児童虐待防止のオレンジリボンにちなんだオレンジ色にライトアップします。

女性の4人に一人が配偶者から暴力を受けた経験があり、被害を受けた女性の約4割はどこにも相談していません。相談内容の約6割が、精神的DVを含んでいます。交際相手からの「デートDV」も深刻です。

また、性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターへの相談は年々増加しており、約9割が女性です。被害時の年齢では約半数を10代以下が占めており、中学生以下に限っても、約3割に上ります。

(内閣府HPより)



DVや性暴力で悩んでいる方へ、年齢・性別をとわず、相談できます。

性暴力・性暴力 内線 #8891 外線 #8103
配偶者・交際相手からの暴力 内線 DV相談 #8008

11月12日～25日は「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。

名張市男女共同参画センター

三重県名張市希中央5番町19番地
Navarie 2階名張市市民情報交流センター内

TEL0595-63-5336 FAX0595-63-5326

e-mail danjo-center@emachi-nabari.jp
https://www.emachi-nabari.jp/j-kouryu/



「つうしん」web版はコチラ

ご意見・ご感想をお聞かせください



男性の性暴力被害

男性の性暴力被害がニュースになっているけれど、近年まで男性の性被害が見えにくかったのはどうして？



性暴力の被害を誰かに話すのって、性別に関わらず難しいこと。それに加えて「男性が性暴力にあうわけがない」という思い込みや、「男性は強くあるべき」などのジェンダー観も根強くて、誰にも話せなかったり、話しても理解されなかったり。男性被害者の苦悩があることを正しく知ることが求められているよ。

●今年9月22日から開設された相談窓口●

男性のための
性暴力被害ホットライン
0120-213-533

男の子と保護者のための
性暴力被害ホットライン
0120-210-109

なるほど、身近にも苦しんでいる人がいるかも。偏見や固定的なものの見方をなくしていくことが大切だね。



性暴力に対するよくある思い込み

若い女性だけが性被害にあう？



年齢、性別にかかわらず起こります。相手が同性でも異性でも同意がなければ性暴力です。

「夜遅く」「知らない人に」襲われる？



時間や場所を問わず性暴力は発生しています。加害者の約8割は顔見知りです。

露出度の高い服を着ていたせい？



性暴力に服装が関係ないことは調査で明らかになっています。

被害にあったとき、いろんな選択肢を矢張り、次はどうするか決めていい。



支援を受ける選択肢もあって、必要な情報や支援を得られる。

この2つを、知っていてください。

男性も女性も子どもも高齢者も被害にあっています。

身近な人が性被害にあったとき

できること



- ・被害者が安全な場所にいるか確認する
- ・「あなたは悪くない」と繰り返し伝える
- ・話にていねいに耳を傾け、気持ちをそのまま受け止める
- ・被害届を出したい、相談したい場合につきそう

気をつけること



- ・話を疑ったり、否定したりしない ※「それ本当？」
- ・被害者を責めない ※「そんなところへ行くのが悪い」
- ・被害を軽いものとしたり、忘れさせようとししない ※「たいしたことない」「早く忘れたい」
- ・自分の動揺をそのまま言わない ※「なんでこんなことに」
- ・被害者の意思や気持ちを聞かずに、良かれと思って一方的な助言や行動をしない ※「〇〇に相談すべき」
- ・安易な共感、励まし、鼓舞はしない ※「大丈夫」「負けるな」

参考資料:内閣府パンフレット「あなたは悪くない～もしものときのために知っておいてほしいこと」、WEB サイト「内閣府男女共同参画局 性犯罪・性暴力とは」「NHK みんなでプラス 性暴力を考える」



名張市男女共同参画センターで
「パープル&オレンジ
リボンづくり」
しませんか！

期間：11/11(土)～28(火)
9:00～17:00 月曜休館

特設コーナーに材料と作り方をご用意します。
「リボンを作りたい」とお申し出ください♪

- パープルリボン…女性に対する暴力をなくす運動のシンボル
 - オレンジリボン…児童虐待をなくす運動のシンボル
- 二つの暴力は密接にかかわっています。リボンに力をつけて、「暴力のない社会を目指す」思いを表明しましょう！

カンタン
無料♪

モヤモヤ委員会

②レディースデーは男性差別なのか問題

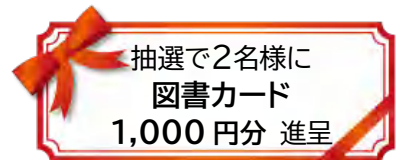
ある属性の人だけ割引だと、当てはまらない人は損した気分……これって差別？ 普段の生活の中で、「差別」と「区別」の違いって難しくな〜い？



レディースデーは企業の工夫の範囲であり、差別とは言い切れないようです。多様な性への認識が広がる中で、性別での割引は少なくなっていくかもしれませんね。また、鉄道会社が作った女性専用車両は、混みあう場所で性犯罪が多発することへの対策であり、性犯罪の撲滅とともに解消されるといいのですが、これって差別？ 差別じゃない？ 一緒に考えていきませんか。

つうしん 123 号アンケート

つうしんを手にとっていただきありがとうございます。今後の編集のために、ご意見をお寄せください。下記①~⑤の必要事項をご記入のうえ、WEB、メール、ハガキ、または FAX でお送りください。(送料等をご負担ください)



- ① 記事の内容は参考になりましたか? (a) 参考になった (b) 参考にならなかった
 - ② 「参考になった」を選択された方はどの記事が参考になりましたか? (複数回答可)
(a) 特集「なばりのきらきらウーマン」 (b) 女性に対する暴力をなくす運動期間 (c) 男性の性暴力被害 (d) 身近な人が性被害にあったとき (e) モヤモヤ委員会② (f) 相談日程
 - ③ 興味のあるテーマ、今後読みたいと思うテーマはどれですか? (複数回答可)
(a) 生命の安全教育(性教育)のこと (b) 世界の男女共同参画の取組 (c) その他()
 - ④ 特集「なばりのきらきらウーマン」についてご意見・ご感想をお聞かせください。
 - ⑤ 123号の記事全体について、ご意見・ご感想をお聞かせください。
- ★ お名前、年齢、住所、連絡先、つうしんの号数を明記の上、下記連絡先へお送りください。

WEBで回答↓



メールで回答↓



応募締切

12/10⑩

(必着)

〈WEB 回答〉 <https://forms.gle/yKtB78tTkGMrZjjK9>

〈メール宛先〉 danjo-center@emachi-nabari.jp「つうしん123号アンケート」

〈郵送宛先〉〒518-0775 名張市希中央 5-19 名張市男女共同参画センター宛

〈FAX 宛先〉 0595-63-5326

※ご記入いただいた個人情報は図書カード発送のみに使用し、当選発表は景品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

20年前の個人的な話ですが、忘れられない“誉め言葉(?)”があります。子どもを授かった時、男性の育児休暇を「会社で誰も取ってないし無理だ」という夫に「あなたが初めての取得者になったらいい」と私が答えました。その話を聞いた夫の同僚は「女にしとくの、もったいないな!」と私を“絶賛”。悪気のなささに笑ってしまいましたが、社会的な行動を起こすのは男性という前提の発言だったと思います。(ちなみに夫が育児休暇を取ることはありませんでした。) その“絶賛”に対して、今ならもっと違うやり取りをしていたかな?と時々思いを巡らせています。



2023年

相談日程

名張市男女共同参画センター

11月


日	月	火	水	木	金	土
●予約電話 63-5336			1	2	3	4
			女性のための相談 9:00~12:00			
5	6	7	8	9	10	11
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00	男性のための相談 17:00~19:00	女性弁護士 による法律相談 10:00~12:00 13:00~15:00	女性のための相談 13:00~16:00
12	13	14	15	16	17	18
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00	女性のための相談 13:00~16:00	
19	20	21	22	23	24	25
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	
26	27	28	29	30		
	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00	女性のための相談 9:00~12:00			

★「女性のための相談」3日（金）は祝日のためお休みです。


12月


日	月	火	水	木	金	土
☆年末年始休業 12/27~1/4					1	2
					女性弁護士 による法律相談 10:00~12:00 13:00~15:00	
					女性のための相談 13:00~16:00	
3	4	5	6	7	8	9
	休館日		女性のための相談 9:00~12:00		女性のための相談 13:00~16:00	
10	11	12	13	14	15	16
	休館日	人権相談 10:00~15:00	女性のための相談 9:00~12:00	男性のための相談 17:00~19:00	女性のための相談 13:00~16:00	
17	18	19	20	21	22	23
	休館日	人権相談 13:30~16:00	女性のための相談 9:00~12:00	メンタルヘルス相談 10:00~12:00	女性のための相談 13:00~16:00	
24	25	26	27	28	29	30
	休館日		休館日	休館日	休館日	休館日
31	休館日	メンタルヘルス相談 13:00~16:00				
休館日						

 **女性のための相談** 予約優先 電話相談可
 毎週水曜日 9:00~12:00 ※祝日の場合は
 毎週金曜日 13:00~16:00 お休みです

 **女性弁護士による法律相談** 要予約 面談
 毎月第1金曜日 10:00~12:00
 13:00~15:00

 **男性のための相談** 予約優先 電話相談可
 毎月第2木曜日 17:00~19:00

 **メンタルヘルス相談(男女共)** 要予約 面談
 毎月第3木曜日 10:00~12:00
 毎月第4火曜日 13:00~16:00

 **人権相談** 要予約 面談
 毎月2回 ※詳しくは、名張市人権センター(☎63-0018)へお問い合わせください

Special
interview

21

「男女共同参画」とは「自分らしくあること」ではないかと私たちは考えています。
男らしく、女らしく、ではなく、ありのまま生き生きと暮らす。
そんな風に「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性たちをご紹介します。

かじかわ ちはる
梶川 千晴 さん

名張警察署 警察官

profile

桑名市出身。小学生の時から武道に打ち込み、得意な剣道を生かしたいと、警察官を志した。交番勤務、三重県警察本部での勤務を経て、2023年4月から名張警察署生活安全課に配属。警察官になって今年で9年目。



地域住民の安全・安心を守るために

お仕事のことを教えてください。

今年の4月から名張警察署に配属され、生活安全課に勤務しています。署には刑事課、交通課、地域課など8つの課があり、生活安全課では日々の暮らしを守るための業務を行っています。ごみの不法投棄などの環境犯罪や不正アクセスなどのサイバー犯罪、少年事件への対応、ストーカーやDV事件への対応、防犯啓発活動など多種多様な仕事があります。

その中で、被害に遭った方からの事情聴取が、私の仕事の大きな柱の一つになっています。女性が被害者の場合、「同性に話を聞いてほしい」との要望もあり、課の中で唯一の女性である私に対応することが多いです。特に性犯罪については、何気ない一言が被害者をさらに傷つける可能性があるため、細心の注意を払うよう心がけています。

警察官になろうと思ったきっかけは何ですか。

昔から「人の役に立つ仕事がしたい」という気持ちがありました。また、小学生の時には空手を、中学・高校は剣道をやっていました。その中で部長を経験し、心身ともに鍛えられたと自負しています。先輩も警察官になっていたことや、母の勧めもあり、剣道で培った技や精神的な面も生かしたいと思い警察官を目指しました。実は、警察官採用試験に2度失敗し、「絶対あきらめないぞ」と覚悟して臨んだ3回目の挑戦で合格したんです。危険な仕事というイメージもありますので、家族や友人たちからは少し心配されましたが、他の職業は全く考えていませんでした。



大変なことや ご苦労をお聞かせください。

薬物で錯乱し暴力的になっていた人に対応するときに、大変な思いをしたことがあります。その時は男性警官が前に出てくれました。特に身体能力の面においての配慮を感じることも多くあります。

また、生活安全課に配属となって初めて、ごみの不法投棄が多いことを知って驚いたのですが、捜査のためにごみの内容を調べるなどできるだけのことをしても、なかなかなくなることはないには、歯がゆい思いがあります。別の分野でも、時には迷宮入りとなってしまう事件があり、とても申し訳ない気持ちになります。

そして、普段は女性だから困るということはありませんが、逆にどの課でも女性が必要とされる場面があると感じます。警察官として、もっと多くの女性が活躍するようになってほしいなと思っています。

(※編集部注：三重県全警察官に占める女性の割合は、令和5年は12.6%。前年より0.5ポイントアップしている。)

警察官という職業のやりがいや、 良さはどんなところですか？

やはり犯人が分かり、事件が解決した時にはホッとします。すぐに解決することもあれば、時間がかかることもあります。以前、性犯罪が多発し、犯人がなかなか捕まらない事件がありました。捜査は長引きましたが、解決した時に被害に遭った方から「犯人を捕まえてくれてありがとう」と言ってもらい、市民の皆さんが安心して暮らすためのお役に立てたことに、とてもやりがいを感じました。それ以外にも、警察官だとわかると「頑張ってるね」と声をかけて



くださる方もいて、ありがたいなと思います。

また、警察官は女性も長く勤める人が多いと思います。名張署でもそうですし、県内の私の同期も結婚・出産してから復帰して働き続けていたり、誰も辞めていないので心強いんですよ。

今後の目標をお聞かせください。

警察官には階級があり、階級ごとに昇任試験もあるのでチャレンジの連続です。日々の業務でも学ぶことが多いので、勉強は欠かせません。まだまだ女性が少ない職業ですが、自分にしかできない仕事に誇りをもってやっていきたいと思っています。

市民のみなさんの安全・安心に直接関わりのある案件を取り扱う部署ですので、精進して頼りにされる警察官になりたいです。



休日には
カフェ巡りしたり、
友人と山に登ったりと
リフレッシュ
しています！

* 見つけた「彼女らしさ」 *

巡査部長のバッジが胸にきらり。敬礼する姿に、さすが警察官という威厳を感じました。剣道で鍛えた力を糧に日々職務に励む梶川さん。撮影時には、「はずかしい」とはにかむ笑顔がとてもチャーミングでした。そんな「剛柔兼ね備えた魅力」に梶川さんらしさを見つけました。